

記者コラム



大型連休の前半、三島市の源兵衛川に足を漬けている人を見かけた。夏になればより多くの人が同市の誇る清流で水遊びをしたり、涼んだりするだろう。

NPO法人グラウンドワーク(GW)三島が管理する三島梅花藻の里では美しい水の中で咲くことで清流のバロメータ

「水都の宝」永遠に

とされる、ミシマバイカモが見頃を迎えている。GW三島によると、かつて湧水の減少や水質悪化で源兵衛川が「ドブ川」になり、ミシマバイカモも姿を消したという。その後、官民一体となって清流が再生された。

今や川の美しさは全国に知れ渡るほどだ。「水の都・三島」の宝が今後とも長く守られてほしい。そんなことをミシマバイカモを見ながら願った。
(北)